

皇學館大学研究開発推進センター紀要 第六号
令和二年三月一日発行（抜刷）

資料紹介

「香川家関係史料」目録

梅田優歩

「香川家関係史料」目録

梅田 優 歩

□ キーワード

香川家 香川敬三 宮内省 皇后宮大夫 明治 大正

本稿は、このたび皇學館大学研究開発推進センター史料編纂所に寄贈されることとなった「香川家関係史料」について紹介することを目的としている。

史料編纂所では、昭和五十七年（一九八二）九月以来、約二万五〇〇〇点の香川敬三関係文書を中心とする史料群を香川家から借用し、整理・調査を行ってきた。この史料群の管理責任者であった本学特別教授・上野秀治氏が退職されることを機に、所蔵者香川擴一氏らと検討を重ねた結果、同家の意向により学習院大学へ寄贈されることとなった。そして平成三十年（二〇一八）八月下旬に学習院大学文学部史学科への移管作業が行われた。

移管に関しては、上野秀治氏と学習院大学文学部史学科・同史料館、そして所蔵者である香川擴一氏の間で協議が重ねられ、綿密な計画・準備がなされた。平成三十年七月二十六日には、香川擴一氏・子息和敬氏と、史学科主任亀長洋子氏との間で、史学科の千葉功氏、史料館の長佐古美奈子氏、上野氏の立会いのもと、香川家史料の寄贈・寄託についての覚書に調印がなされ、同年八月二十七日から

三十日にかけて本学で史料確認・梱包作業を行い、八月三十一日、学習院大学文学部史学科へ搬入された。東京に移ったことで更なる研究の躍進が期待できるだろう。

さて、香川家に関する史料はこの度学習院大学に移管された史料以外にも、古書店に売り出された史料、また当然のことながら香川敬三が差し出した香川家に残らない書簡類も存在する。その一部を上野秀治氏が独自に収集したものがあろう。皇學館大学附属図書館所蔵の史料群、またこのたび史料編纂所に寄贈されることとなった史料群がそれである。しかし、この存在はあまり認知されていない。そこで、この本学が所蔵している「香川家関係史料」について周知・活用してもらうために、目録を掲げ簡単な紹介をしていきたい。

まず、【目録1】は皇學館大学附属図書館所蔵の史料である。上野秀治氏の教員研究費で購入したものであり、平成二十年度に本学図書館に入ることになった。香川敬三をはじめ、妻須磨子、息子の桜男、その妻正子等香川家の人々に宛てられた書簡群である。

【目録2】～【目録5】の史料は、いずれも上野氏が購入・管理してきたものであり、内訳は、書簡類が七十一点、また雑文書類はダンボール箱で二箱あり一

箱には、七十四点入りの袋と、八十四点入りの袋があり、もう一箱には写真類が一九三九点入っている。この合計三四九点の史料がこのたび史料編纂所に寄贈されることとなった。

【目録2】は書簡類に関する目録で、No.1～No.52までは【目録1】と同時期に上野秀治氏が個人で購入したものである。こちらも香川敬三、桜男、正子等香川家の人々に宛てられた書簡群であるが、敬三の皇后宮大夫という職に関連して送られている内容の多い傾向にある。また、敬三差出の書簡の下書きも数点存在している。No.53～No.71の書簡十九通は、昭和五十八年に、上野氏が古書店から購入した十八通と恵良宏氏（当時本学助教）から購入した一通を合せたものである。いずれも香川敬三から宮内省調度寮調度頭・長崎省吾に宛てられたもの（うち一通、調度寮宛）であり、比較的まとまった史料群である。⁽ⁱⁱ⁾

【目録3】【目録4】は、雑多な史料群に関するもので前者が七十四点入りの袋、後者が八十四点入りのものである。チラシ類が大部分を占めているが、宅地図等私的な物から、敬三が宮内省の会議で使用したとみられる冊子類など幅広い史料が入っている。

【目録5】は写真を中心とするまとまりであり、香川家の人々の集合写真や饗宴の大判写真、写真館で撮影した写真、風景の写真まで多種多様な写真が混在している。桜男、正子、敬三の娘で桜男の姉である香川志保子、また桜男の息子たちといった香川家の写真をはじめとしてその親族関係の人々のものがある。敬三の写真は数えるほどしかなく、多くは桜男に関連する写真であると考えられる。

以上が、本学所蔵の「香川家関係史料」の全貌である。比較的保存状態もよく、香川家の人々とその交友関係も知ることができる貴重な資料である。全文書の紹介や翻刻・研究に関しては、今しばらく猶予をいただき、ひとまず、ここで「香川家関係史料」の目録を掲げた。学習院大学に移管された香川敬三関係文書とともに活用していただければ幸いである。

【参考文献】

- ・上野秀治『香川敬三関係文書の整理と紹介』（十八会実行委員会、二〇一九年）
- ・皇學館大学史料編纂所『図録・香川敬三関係史料の世界』（皇學館大学出版部、二〇一三年）

注

- (i) 香川敬三（天保十年生、大正四年死去）は、明治から大正初期の宮内官僚であるが、幕末期は勤王の志士として活躍、岩倉具視の知遇を得て、維新後は軍務に従事するものの退官、ほどなく宮内省に採用され、明治十四年五月皇后宮大夫となって以後昭憲皇太后崩御まで三十三年間、その側近として奉仕し、近代皇室の確立に尽力した人物である。宮内省における勤務の長さといい、その地位といい、侍従長徳大寺実則と双璧をなす人物といえるが、その存在が世に十分知られているとは言い難い。〔図録・香川敬三関係史料の世界〕より引用

- (ii) これらととも一体であったとみられる長崎省吾関係の史料は佐々木隆氏により『聖心女子大学論叢』（六六〇）（六八）に、「長崎省吾関係文書一」「省吾雑記」上」「長崎省吾関係文書二」「省吾雑記」下」として紹介されている。

（うめだ ゆうほ・皇學館大学大学院文学研究科博士後期課程）

目録凡例

- 一、本目録は、香川家史料の目録である。
- 一、データを採取した項目は、書簡類【目録1】【目録2】に関しては、「史料名」・「年月日」・「西暦」・「作成」・「宛名」・「封筒差出」・「封筒宛名」・「消印」・「形態」・「備考」・「書き出し」である。雑記類【目録3】【目録4】は「史料名」・「年月日」・「西暦」・「作成」・「宛名」・「形態」・「封筒」・「備考」、写真類【目録5】は、「史料名」・「年月日」・「西暦」・「贈呈者名」・「宛名」・「撮影者」・「形態」・「備考」を採録した。
- 一、「表題」・「年月日」・「作成者名」・「宛名」について、目録採取者が補った情報は括弧内に記した。また、推定にあたる場合には「カ」を附した。記載事項がない場合は空欄としている。
- 一、判読不可能な文字に関しては、□（四角）で示した。文字数が不明な場合に関しては「」で示している。
- 一、「史料番号」に関しては、書簡類は「作成者名」の五十音順に改め、写真類についても特定できる人物に関しては可能な限りまとめて番号を付与した。
- 一、本史料群の閲覧・利用に関しては、皇學館大学研究開発推進センターへ問い合わせを願いたい。
- 一、旧字は適宜常用の字に改めた（人名は除く）。

※稿の都合上目録は二二二頁から始まり左開きである。

宛 所	撮 影 者	形態	備 考
		封書	封筒表「□建坪数調書在中」
陸軍歩兵少佐伯爵 香川桜男殿		封書	封筒「陸軍歩兵少佐伯爵香川桜男殿」／本文「特別大演習終了ノ後栃木町ニ於ケル賜饌ニ可被為召旨 御沙汰候条来ル十八日午後二時三十分参入可有之此段申入候也」
香川正子殿		封書	封筒「香川正子殿」／本文「天皇陛下には来たる十九日午後三時お茶にお招きの思召でありますから此の旨お伝え致します」
東京市麹町区紀尾 井町六 香川桜男 様		葉書	消印「東京中央 9.2.14 后4-8」
		葉書	裏手紙
麹町区紀尾井町六 香川御□様		葉書	裏手紙、年末の挨拶
		葉書	紙繕にて一括
		葉書	紙繕にて一括
香川桜男様、同正 子様		葉書	
		葉書	未使用
		写真	「於大内山内紅葉山撮影」「回顧三十星霜」「日出る国ビンセン附録第二四三號」とあり
		名刺	「広島歩兵第四十一聯隊第八中隊陸軍戸山学校教導大隊分遣中村繁次郎 岡山県後月郡高屋村字石谷」

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	贈呈者名
174		□建坪数調書（麴町区紀尾井町六番地ノ五号）	(不詳)				
175		賜饌招待状	大正7	1918	11	1	宮内大臣子爵波多野敬直
176		お茶招待状	昭和27	1952	5	9	侍従長三谷隆信
177		「オシドリ」之生育□（写真はがき）	昭和9	1934	2	14	東京市中野区宮園通三丁目廿二番地山村静雄
178		ポストカード「HYDE PARK AND DORCHESTR HOTEL LONDON」	(不詳)				
179		菊（写真はがき）	昭和7	1932	12	26	牛込区若松町西脇満子
180	1	ポストカード	大正2	1913	6	11	
180	2	ポストカード	大正2	1913	6	14	
181		ポストカード	(大正・昭和) 2		7	11	晃子、祐邦
182		ポストカード（牧の原より南アルプス連峰を望む）	(不詳)				
183		日露戦争出征諸星記念写真	明治37	1904	7		
184		名刺	(不詳)				中村繁次郎

宛 所	撮 影 者	形態	備 考
		写真	裏書「昭和二十六年五月二十日写ス大正三年四月二十一日生稲葉文」
		写真	
奉呈香川桜男君		写真	裏書「奉呈香川桜男君 明治卅一年七月 岩倉道俱」
呈 香川桜男君	天野晴製（尾張町四谷）	写真	裏書「呈 香川桜男君 岩倉道俱」
	丸木利陽	写真	
	Y.HACHIYA（蜂谷写真館）	写真	
		写真	
		写真	
		罫紙	
		写真	
		写真	裏書「御大礼記念昭和三年十二月二十一日」
		写真	裏書「昭和七年七月石田繁蔵氏〔 〕」
		写真	裏書「昭和十一年五月近歩四五十周年記念ノタメ建〔 〕時計台」
		写真	裏書「昭和十二年一月二十一日、富士見分□□□□□□□□ノ競技会」
		写真	
		写真	
		写真	
		写真	封筒あり／封筒にて33-1から33-16まで一括
		写真	
		写真	裏書「昭和七年八月」
		写真	
		写真	
		写真	
		写真	裏書「昭和七年十一月」
		写真	
		写真	
		写真	
		写真	
		写真	
		写真	
		写真	
		写真	
		写真	
		写真	
		写真	
	山村氏	写真	裏書「昭和六年八月二十三日山村氏撮影」
		写真	裏書「昭和七年十一月」
		写真	裏書「昭和七年十一月自宅（麴町区紀尾井町六）」
		写真	
		写真	
		ネガ	ネガ合計6枚／「香川様」「家族（ネガ）」と書かれた「アサオ天地堂」の封筒に入っている
	東京四谷伝馬町三丁目アサオ天地堂	ネガ	ネガ合計4枚／「香川様」と書かれた封筒にて一括
	東京四谷伝馬町三丁目アサオ天地堂	ネガ	ネガ1枚／封筒あり
		絵	

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	贈呈者名
149		稲葉文写真	昭和26	1951	5	20	
150		女性写真	(不詳)				
151		岩倉道俱写真	明治31	1898	7		岩倉道俱
152		岩倉道俱写真	(不詳)				岩倉道俱
153		家族写真	(不詳)				
人以外の写真（動物、植物、風景等）							
154		香川桜男愛馬写真	(不詳)				
155		鳩魂塔写真	(不詳)				
156	1	駐蹕碑写真	(不詳)				
156	2	駐蹕碑碑文写	昭和4	1929	6		
157		花壇写真	(不詳)				
158		御大礼記念（菊写真）	昭和3	1928	12	21	
159		百合畑写真	昭和7	1932	7		
160		軍旗拝受第50周年記念時計台写真	昭和11	1936	5		
161		剣道場写真	昭和12	1937	1	21	
162		花輪写真	(不詳)				
163		奉天城東南角写真	(不詳)				
164		風景写真	(不詳)				
165	1	犬3匹写真	(不詳)				
165	2	朝顔写真	(不詳)				
165	3	朝顔写真	昭和7	1932	8		
165	4	男性と樹木写真	(不詳)				
165	5	少女写真	(不詳)				
165	6	庭に犬1匹写真	(不詳)				
165	7	菊写真	昭和7	1932	11		
165	8	植木鉢写真	(不詳)				
165	9	朝顔写真	(不詳)				
165	10	犬2匹写真	(不詳)				
165	11	犬1匹写真	(不詳)				
165	12	朝顔写真	(不詳)				
165	13	菊写真	(不詳)				
165	14	鳩写真	(不詳)				
165	15	鳩写真	(不詳)				
165	16	朝顔写真	昭和6	1931	8	23	
166		菊写真	昭和7	1932	11		
167		菊写真	昭和7	1932	11		
168		鳩写真	(不詳)				
169		茶会写真	(不詳)				
写真以外							
170		ネガ（家族）	(不詳)				
171		ネガ	(不詳)				
172		ネガ（紀尾井町の2階から上智大学を望む）	(不詳)				
173		香川桜男肖像画	(不詳)				

宛 所	撮 影 者	形態	備 考
香川正子様	京都北野神社北門前写真師 北村翠柳館	写真	裏書「明治三十八年五月二十六日写 石野基恒 二年四ヶ月」
香川正子様江	京都北野神社北門前写真師 北村翠柳館	写真	裏書「明治三十八年五月廿六日写 石野道子九年八ヶ月、同和子七年六ヶ月、彩子四年八ヶ月 香川正子様江」
		写真	「俊恭院殿温誉興仁隆寛大禪定門 故正二位勲二等伯爵鷺尾隆聚」とあり／鷺尾隆聚は明治45年3月4日に死去
謹呈香川桜男様	山本廉平製	写真	
		写真	裏書「昭和十六年」
	城南写真館（大坂上本町内 安堂寺町南）	写真	裏書「歩兵第八聯隊第三中隊橋本市三郎」
		写真	裏書「明治四十三年四月廿四日ウツス充子十歳」
		写真	裏書「昭和三年七月写ス友田盛子」
	大阪市心齋橋筋増□町西 独立軒船場写真館 若林耕 謹写	写真	裏書「佐々木季吉」
		写真	裏書「佐々木斐子」
		写真	裏書「佐々木斐子」
To Mr.Kagawa	写真師 和田一郎（大日本 相州横須賀港）	写真	裏書「To Mr.Kagawa From Takatsu」
謹呈香川桜男君	塚本楊東製（東京富士見町）	写真	裏書「謹呈香川桜男君 明治廿九年五月写 松平長」
		写真	裏書「鷹司一家」
		写真	
		写真	
呈上 香川桜男君		写真	
呈香川君	山田写真館柴田恒吉謹写 （東京市赤坂見附下）	写真	裏書「呈香川君 不□大原定 二十六年四月」
	シミズシフヨウカン	写真	裏書「大竹與敬」
呈香川君	東京赤坂田町七丁目山本廉 平製	写真	裏書「呈香川君 水魚の友 ひら松時陽 二十六年四月」
呈香川君		写真	裏書「呈香川君 河田頼功拝 二十五年」
		写真	裏書「山井兼武氏」
		写真	裏書「木村清」
		写真	
		写真	裏書「山井兼武氏」
	大阪府立博物館前 岩間毅	写真	裏書「明治三十五年一月五日写 堀野佳太郎」
	Okamoto（赤坂）	写真	
		写真	
	NONOMIYA KUDAN, TOKYO	写真	裏書「植村□□氏二男菊□氏」
	日本橋区呉服町壹番地 中 嶋待乳	写真	裏書「昭和六年十一月十一日三重県河芸郡玉垣村石田繁蔵（□□）邸ニテ撮影ノ由ニテ同氏送来 一、同氏伯母（60）二、同氏夫人三、同氏四、同氏伯父（79）五、ゝ母（74）六、ゝ従兄（60）七、ゝ妻ノ母（69）」
		写真	裏書「昭和十一年六月十五日籠野瀧野屋ニテ撮影山村布施増田土屋」
		写真	裏書「昭和十六年」
		写真	裏書「昭和廿五年正月三宅吉郎」
		写真	裏書「昭和廿五年八月 三宅みつ子」
		写真	裏書「三宅ついさん」
	KIYOKWAN（京都）	写真	「あき十三歳 つい十七歳 かめ四十歳 明治四十三年五月」

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	贈呈者名
112		石野基恒写真	明治38	1905	5	26	
113		石野姉妹（道子、和子、綾子）写真	明治38	1905	5	26	
114		鷺尾隆聚写真	(不詳)				
115		高崎益彦写真	(不詳)				高崎益彦
116		男性写真	昭和16	1941			
117		橋本市三郎写真	(不詳)				
118		九条充子写真	明治43	1910	4	24	
119		友田盛子と幼児写真	昭和3	1928	7		
120		佐々木季吉写真	(不詳)				
121		佐々木斐子写真	(不詳)				
122		佐々木斐子と男児写真	(不詳)				
123		高津某写真	(不詳)				From Takatsu
124		松平長写真	明治29	1896	5		
125		鷹司一家写真	(不詳)				
126		男性写真	(不詳)				
127		女性写真	(不詳)				
128		万里小路益房写真	(不詳)				万里小路益房
129		大原定写真	(明治)26	1893	4		不口大原定
130		大竹與敬写真	(不詳)				
131		平松時陽写真	(明治)26	1893	4		ひら松時陽
132		河田頼功写真	(明治)25	1892			河田頼功拝
133		女装姿の写真（山井兼武他）	(不詳)				
134		木村清写真	(不詳)				
135		軍人写真	(不詳)				
136		男性写真	(不詳)				
137		山井兼武と男性写真	(不詳)				
138		堀野佳太郎写真	明治35	1902	1	5	
139		家族写真	(不詳)				
140		女装姿の写真	(不詳)				
141		女装姿の写真	(不詳)				
142		石田家家族写真	昭和6	1931	11	11	
143		男性4人女性1人写真	昭和11	1936	6	15	
144		香川家宿泊の兵隊2人写真	昭和16	1941			
145		三宅吉郎写真	昭和25	1950	1		
146		三宅みつ子写真	昭和25	1950	8		
147		三宅つい他写真	(不詳)				
148		あき・つい・かめ写真	明治43	1910	5		

宛 所	撮 影 者	形態	備 考
	鈴木真一（東京九段坂、本町通、横浜）	写真	
	鈴木真一（東京九段坂、本町通、横浜）	写真	裏書「香川志保子」
	小豆澤亮一製	写真	裏書「香川志保子」
	鈴木真一（東京九段坂、本町通、横浜）	写真	裏書「香川須磨子（桜男の実母）」
		写真	香川桜男の子供たち
	Y.相澤（四谷見附）	写真	
		写真	裏書「英男（三才）」
		写真	裏書「英男一才」／香川英男カ
	Tomoe（東京）	写真	
	河村勇次	写真	松園満子（正子の母）松園ユタコ（正子の妹）
		写真	裏書「三宅正太郎氏結婚式の写真」
	鈴木真一（横浜真砂町／東京九段坂）	写真	裏書「謹呈明治卅年六月六日 於東京 曾我祐邦曾我晃子」
	T.Hasegawa（仲坂上九段）	写真	裏書「謹呈正子様 御拝 祐光 丙午五月廿二日 百姓としては飾り高襟もはなやかと思召ます」
		写真	裏書「子爵 曾我祐準氏」
		写真	「正子（姉）」／裏書「宗尚子」
		写真	裏書「明治三十一年九月清国へ出張ノサイ曾我祐光」
香川正子様	玉翠館 気賀秋畝製	写真	裏書「明治卅六年十月写 曾我祐邦、（正子姉）晃子、祐文四年、清子二年、祐虎一年 香川正子様」
		写真	裏書「曾我盛子」
謹呈香川桜男君	玉翠館 気賀秋畝製	写真	裏書「謹呈香川桜男君全夫人政子卅五年十一月三日写ス□. Soga」
		写真	裏書「松園満子（正子の母）」
	江崎禮二製（大日本浅草公園地早取写真師）	写真	裏書「松園信淳氏」
		写真	裏書「香川正子父松園尚嘉」
		写真	裏書「桜男実妹 花房静子」
		写真	裏書「花房兄弟 光吉郎、福次郎、義夫」
	丸木利陽証寫	写真	
		写真	裏書「佐々木高信夫妻」
		写真	裏書「本咲氏夫妻」
		写真	
		写真	
	大武大夫（大武写真館）	写真	
香川桜男	e.goto studio	写真	裏書「明治三十八年武正呈桜男兄 九条様」
正子様江	K.Ogawa（東京）	写真	裏書「明治四十三年四月廿四日写」
	小川一真（小川写真館）	写真	
		写真	
	寺本写真館（荻窪）	写真	「為記念□香川伯爵閣下」
	K.Ogawa（東京）	写真	
		写真	裏書「池田菊枝」
		写真	裏書「池田菊枝」
呈香川先生		写真	裏書「呈香川先生 石槌県池田謙蔵」
		写真	

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	贈呈者名
72		香川志保子写真	(不詳)				
73		香川志保子写真	(不詳)				
74		香川志保子写真	(不詳)				
香川家その他							
75		香川須磨子写真	(不詳)				
76		香川敬男、香川保子、香川朝男、香川英男写真	(不詳)				
77		香川英男写真	(不詳)				
78		香川英男写真	(不詳)				
79		香川英男写真	(不詳)				
80		香川敬男、典子結婚写真	(不詳)				
香川家以外の人々							
81		松園満子、松園ユタコ写真	(不詳)				
82		三宅正太郎氏結婚式写真	(不詳)				
83		曾我祐邦・晃子結婚写真	明治30	1897	6	6	
84		曾我祐光写真	丙午		5	22	
85		曾我祐準写真	(不詳)				
86		宗尚子写真	(不詳)				
87		曾我祐光写真	明治31	1898	9		
88		曾我家家族写真	明治36	1903	10		
89		曾我盛子と男子写真	(不詳)				
90		曾我某写真	(明治35)	1902	11	3	
91		松園満子写真	(不詳)				
92		松園信淳写真	(不詳)				
93		松園尚嘉写真	(不詳)				
94		花房静子写真	(不詳)				
95		花房兄弟写真	(不詳)				
96		花房福次郎写真	大正3	1914	4	5	
97		佐々木高信夫妻結婚写真	(不詳)				
98		結婚写真	(不詳)				
99		結婚写真	(不詳)				
100		結婚写真	(不詳)				
101		結婚写真	(不詳)				
102		男性写真（九条武正カ）	明治38	1905			(九条武正)
103		女性写真	明治43	1910	4	24	恵子
104		男性写真	(不詳)				
105		女性写真	(不詳)				
106		男性写真	昭和10	1935	5		
107		着物の女性写真	(不詳)				
108		池田菊枝写真	(不詳)				
109		池田菊枝写真	(不詳)				
110		池田謙蔵写真	(不詳)				石槌県 池田謙蔵
111		石野孝子写真	(不詳)				

宛 所	撮 影 者	形態	備 考
		写真	裏書「香川桜男大坂城内にて」
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「明治四十五年五月廿六日リオ□市 木島領事ニヨリテ撮影セラレタルモノナリ 伊藤補事官補、堀内（堀越商店）、杉村外交官補（後の大使）、香川桜男、濱崎素（三井物産）、鈴木中佐（孝雄）（後の大将）、渡辺大佐（満太郎）」
		写真	裏書「香川桜男 1912」
		写真	裏書「〔 〕於テ〔 〕ト共ニ撮影 明治四十五年一月廿五日」
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「香川桜男」
	写真師丸木利陽（新橋）	写真	裏書「香川桜男・正子」
		写真	
	写真師丸木利陽（新橋）	写真	
	写真師丸木利陽（新橋）	写真	裏書「香川正子」
		写真	裏書「香川正子」
	Y.Okano（東京）	写真	裏書「香川正子」
	Okamoto（赤坂）	写真	裏書「香川正子」
	Y.Okano（東京）	写真	裏書「香川正子」
		写真	裏書「香川正子」
		写真	裏書「香川正子」
		写真	裏書「香川正子」
		写真	裏書「香川正子」
		写真	裏書「香川正子」
		写真	裏書「香川正子」
		写真	裏書「昭和十六年」
		写真	裏書「昭和十六年香川正子動員により当家に宿泊した兵隊」
	丸木利陽（東京芝新シ橋角）	写真	
	写真師丸木利陽	写真	裏書「香川志保子（桜男の姉）」
	鈴木真一（横浜真砂町、東京九段坂）	写真	
	丸木利陽（東京芝新シ橋角）	写真	同じ写真（No.67～71）
	写真師丸木利陽（東京芝新シ橋角）	写真	同じ写真（No.67～71）
	写真師丸木利陽（東京芝新シ橋角）	写真	同じ写真（No.67～71）
	写真師丸木利陽（東京芝新シ橋角）	写真	同じ写真（No.67～71）
	写真師丸木利陽（東京芝新シ橋角）	写真	同じ写真（No.67～71）

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	贈呈者名
32		香川桜男写真（大坂城内にて）	（不詳）				
33		香川桜男写真（騎乗）	（不詳）				
34		香川桜男写真（騎乗）	（不詳）				
35		香川桜男写真（池のほとりにて）	（不詳）				
36		香川桜男写真（煙草を吸う）	（不詳）				
37		香川桜男写真（池のほとりにて）	（不詳）				
38		香川桜男写真	（不詳）				
39		集合写真（香川桜男他）	明治45	1912	5	26	
40		香川桜男と男性写真	明治45	1912			
41		香川桜男と男性写真（浜辺にて）	明治45	1912			
42		香川桜男他写真（浜辺にて）	（不詳）				
43		香川桜男他写真（浜辺にて）	（不詳）				
44		外国人女性と香川桜男写真	（不詳）				
45		香川桜男他集合写真	（不詳）				
46		香川桜男と女性写真	（不詳）				
47		香川桜男他集合写真	（不詳）				
48		香川桜男式典参加写真	（不詳）				
49		香川桜男・正子写真	（不詳）				
50		香川桜男・正子写真	（不詳）				
正子							
51		香川正子写真	（不詳）				
52		香川正子写真	（不詳）				
53		香川正子写真	（不詳）				
54		香川正子写真	（不詳）				
55		香川正子写真	（不詳）				
56		香川正子写真	（不詳）				
57		香川正子写真	（不詳）				
58		香川正子写真	（不詳）				
59		香川正子写真	（不詳）				
60		香川正子写真	（不詳）				
61		門前写真	（不詳）				
62		香川正子と香川家宿泊の兵隊写真	昭和16	1941			
63		香川正子と香川家宿泊の兵隊写真	昭和16	1941			
志保子							
64		香川志保子写真	（不詳）				
65		香川志保子写真	（不詳）				
66		香川志保子写真	（不詳）				
67		香川志保子写真	（不詳）				
68		香川志保子写真	（不詳）				
69		香川志保子写真	（不詳）				
70		香川志保子写真	（不詳）				
71		香川志保子写真	（不詳）				

宛 所	撮 影 者	形態	備 考
	三越 (Mitsukoshi Co.)	写真	大判
	北澤 (K.Kitazawa)	写真	大判
	蜂谷写真館 (東京九段坂下)	写真	大判
	T.Shibata (赤坂)	写真	大判
	武林盛一 (大日本帝国北海道札幌出張写真所東京一番町)	写真	大判／香川桜男関係／右上から、吉田勝任／木越専八／水野宣／村井馨／波多野精一／中村晶／大関寛／芝山孝豊／池田仲博／溝口直亮／河田景延／宮内盛一／吉井信照／上野西郎／小畑巖三郎／南部利祥／野津鎮雄／有馬寅治／梅田勝太郎／石川直三郎／三上裕太郎／小川武一／杉山得三／鼓包美／牧野透／香川桜男／松平恒吉／野島秀壽／山口十八／内藤貞一／園田(武佳)雄／野崎善蔵／土方久路／井上彦六／西郷豊彦／山内豊景
	政木写真館 (尾張国丹羽郡布袋町)	写真	「大正八年十月二十五日西春日郡青年団幹部講習会之際長母寺境内ニ於ケル記念撮影」 「香川桜男」
		写真	裏書「昭和六年八月二十八日英武三周年祭ノ際撮影」
		写真	裏書「昭和十一年八月二十八日富士見小学校於テ第五営補充兵講習会修了式当日撮影」
		写真	裏書「右香川正子」
		写真	裏書「前列右香川志保子」
		写真	裏書「青地夫人、田中夫、池田菊枝、池田満子、保子、正子」
		写真	裏書「正子、香川桜男、松園満子」
		写真	人物対象が糊付にて付属されている
		写真	裏書「昭和十三年六月四日宮代郷牧田隈氏別邸ニ於テ撮影ス峯、香川、前田、菊池武夫、牧田、松井石根氏」
		写真	裏書「岩村雪子、香川須磨子、山井文子、花房静子、香川桜男」
		写真	裏書「昭和十五年一月十一日〔 〕武道競技会」
		写真	裏書「左から三人目香川敬三」
	丸木利陽	写真	
	Y.Okano	写真	
	武川写真店 (京橋区)	写真	香川桜男カ
	武川写真店 (京橋区)	写真	目録番号11の男性、同時期
	江木支店 (T.NARITA)	写真	裏書「香川桜男学習院在学中」
	写真師丸木利陽 (東京芝新シ橋角)	写真	裏書「香川桜男士官学校在学中」
	R.Maruki (東京)	写真	裏書「香川桜男」
		写真	裏書「明治三十七年四月征露行ニ際シ大坂城内ニテ撮影」
		写真	裏書「明治三十七年四月香川桜男日露戦争出征ニ際シ大坂城内ニテ」
		写真	裏書「明治三十七年四月日露戦争出征に際シ大坂城にて」
		写真	裏書「明治三十七年四月 香川桜男 日露戦争出征ニ際シ大坂城内ニテ」
		写真	
		写真	裏書「明治四十四年十月撮影 香川桜男」
		写真	裏書「香川桜男」

【目録5】

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	贈呈者名
大判写真							
1		香川家族写真	(不詳)				
2		集合写真	(不詳)				
3		饗宴写真	(不詳)				
4		軍事演習写真	(不詳)				
5		集合写真	(不詳)				
集合写真							
6		西春日郡青年団幹部講習會集合写真	大正8	1919	10	25	
7		岩村英武三周年祭集合写真	昭和6	1931	8	28	
8		第五営補充兵講習會集合写真	昭和11	1936	8	28	
9		女性集合写真	(不詳)				
10		洋装姿の男女集合写真	(不詳)				
11		女性集合写真（青地夫人・田中夫人・池田菊枝・池田満子・香川保子・香川正子）	(不詳)				
12		男女集合写真（香川正子・香川桜男・松園満子他3名）	(不詳)				
13		国士館主催帝都都在郷軍人団幹部時局懇談会	昭和6	1931	11	21	
14		集合写真（香川桜男・菊池武夫他）	昭和13	1938	6	4	
15		香川家族写真（岩村雪子・香川須磨子他）	(不詳)				
16		武道競技會集合写真	昭和15	1940	1	11	
香川家の人々							
敬三							
17		香川敬三社交界写真	(不詳)				
桜男							
18		香川桜男写真	大正3	1914	9	4	
19		香川桜男写真	(不詳)				
20		香川桜男写真	(不詳)				
21		香川桜男と男性写真	(不詳)				
22		香川桜男写真（学習院在学中）	(不詳)				
23		香川桜男写真（士官学校在学中）	(不詳)				
24		香川桜男写真	(不詳)				
25		香川桜男写真（日露戦争出征に際して）	明治37	1904	4		
26		香川桜男写真（日露戦争出征に際して）	明治37	1904	4		
27		香川桜男写真（日露戦争出征に際して）	明治37	1904	4		
28		香川桜男写真（日露戦争出征に際して）	明治37	1904	4		
29		香川桜男写真	(不詳)				
30		香川桜男写真	明治44	1911	10		
31		香川桜男写真	(不詳)				

作成者名	宛 所	形態	封筒	備 考
女子教育奨励会（朱印：女子教育奨励会之印）	香川子爵殿	書簡		
日本体育会会計主任（印）／幹事（印）／創立者（印）	賛助会員御中	一紙		
		一紙		丸秘の印あり／表紙のみ
		一紙		
		一紙		冊子の一部とみられる
		一紙		
ジャパントイムス社		一紙		エドワード7世（イギリス王）の戴冠式関係カ
		一紙		
蒲生伊三郎	岡井紀□□様	一紙		No.22と同じ内容
鉄道院外発起人 男爵武井守正／男爵田健次郎／益田孝／末延道成／松木幹一郎／鉄道院内発起人 野村龍太郎／吉川阪次郎／遠藤剛太郎／朝比奈林之助／井出繁三郎／大道良太／木下淑夫	殿	一紙		
		一紙		No.89とセット
館長 三條実美		一紙		「別紙ノ通山田顕義伯ヨリ依頼ニ付則國學院書類及御送附候実義ニ於テモ御賛成之程希望仕候也廿三年九月廿七日 館長公爵三條実美」
大久保利通（花押）自清京	黒田清隆殿	一紙		3枚あり
工学士 伊東忠太		図		
		図		
大礼使典儀部		図		
東京府東京市麹町区飯田町5丁目8番地神苑会／著作者兼発行者田中芳男 東京府東京市本郷区金助町72番地／印刷者松田菊枝 東京府東京市日本橋区呉服町5番地		図		「両神苑之図農業館之図賓日館之図神苑会」と書かれた紙にて一括
東京府東京市麹町区飯田町5丁目8番地神苑会／著作者兼発行者田中芳男 東京府東京市本郷区金助町72番地／印刷者松田菊枝 東京府東京市日本橋区呉服町5番地		図		「両神苑之図農業館之図賓日館之図神苑会」と書かれた紙にて一括
東京府東京市麹町区飯田町5丁目8番地神苑会／著作者兼発行者田中芳男 東京府東京市本郷区金助町72番地／印刷者松田菊枝 東京府東京市日本橋区呉服町5番地		図		「両神苑之図農業館之図賓日館之図神苑会」と書かれた紙にて一括
（立原甚太郎）		一紙		「泉州萬」まで書かれている
		短冊		「大坂の京江御渡しになりし時御役人乃□いたわかあり〔 〕いとまこひによせて歌」

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日
75		(女子教育奨励会総会来会願いにつき)	明治23	1890	6	18
76		体育会報告	明治25	1892	9	
77		参照 ○著作権法 明治三十二年三月法律第三十九号 第二十八条 外国人ノ著作権ニ付テハ条約ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外本法ノ規定ヲ通用ス但シ著作権保護ニ関シ条約ニ規定ナキ場合ニハ帝国ニ於テ始メテ其ノ著作物ヲ発行シタル者ニ限り本法ノ保護ヲ享有ス	明治32	1899	3	
78		(大江卓「可憐一部人民の事情を訴ふ」)	(不詳)			
79		(白紙)	(不詳)			
80		大成学館高等予備門規則	(不詳)			
81		ジャパントイムス号外	明治35	1902	7	14
82		(奉納能楽につきチラシ)	明治25	1892	6	16
83		(文書写)	(不詳)		11	20
84		(新橋駅長高橋善一氏在職満40年表彰式挙行につき願状)	大正2	1913	9	
85		報告書(新橋駅長高橋善一氏在職満40年表彰式挙行につき)	大正2	1913	9	
86		(國學院につき賛成願状)	明治23	1890	9	27
87		枢密副啓(書写)	明治7	1874	10	30
88		豊公廟建築計画図	明治29	1896	10	
89		桜雲台千分五之縮図	(不詳)			
90		参列諸員案内図(其2)	(不詳)			
91	1	両神苑之図	明治24	1891	4	22
91	2	農業館地面全図	明治24	1891	4	22
91	3	賓日館	明治24	1891	4	22
92		(泉州萬安橋碑拓本写)	(不詳)			
93		贈従五位黒澤止幾子刀自遺墨	(不詳)			

作成者名	宛 所	形態	封筒	備 考
日本美術協会		冊子		
		綴		
		綴		丸秘の印あり
		綴		表紙のみ
		綴		
		綴		
		冊子		No.12と関連しているカ
		綴		鉛筆にて本文直しあり
著者滋賀県平民井上良三／出版人 奈良県平民土炊信次郎／印刷人 大阪府平民龍雲舎赤川孫兵衛		綴		
従一位太政大臣三條実美篆額 頼 惟復撰并書同志者建		綴		
祭主梅田良三／幹事頼復／富岡百 錬／吉田嘿／安藤精軒		一紙		「梅田雲濱君碑文」の冊子に挟まっていたもの
		袋		
		綴		「宝暦紀事一件宙齋記ハ松方正熊殿へ貸渡事」と 書かれた袋に入っている／宝暦事件関係者の記 録とみられる
		綴		
名古屋清流女学校にて曲直瀬徳行 院（旧曲直瀬みとり事）	藤村紫朗殿	書簡		
伊勢国津結城神社社務所		一紙		
東京浅草東本願寺内保晃会出張所 ニ於テ発起人総代謹白		一紙		
		一紙		
		綴		後欠
発行兼編集人小澤勝次郎		一紙		
麴町区下6番町10番地		一紙		
赤坂溜池新市村座慈善会発起人		一紙		
慈善演劇発起人		一紙		
蒲生伊三郎	岡井紀□□様	一紙		
太政官文書局		一紙		
東京市養育院慈善会		一紙		
		一紙		
発行所三益社／編集人水野昌幸		一紙		
東京改良演劇会		一紙		
国風音楽会		一紙		
		一紙		
発行所東京々橋区宗十郎町7番地 大日本私立衛生会事務所		一紙		
		一紙		
		一紙		
編集人安積五郎／発行兼印刷人三 石寿一郎／発行所 東京市小石川 区表町105番地 明治館		一紙		
弁護士法学士寺田四郎		一紙		
		一紙		
皇典講究所長 伯爵山田顕義	華族会館長 公 爵 三條実美殿	一紙		印刷物
高野茂門人		一紙		

No	枝	史料名	年	西暦	月	日
38		明治廿二年伊国彫刻展覧会列品略解	明治22	1889	9	19
39		文学的及美術の著作物保護修正「ベルヌ」条約明治四十三年九月条約第五号	(不詳)			
40		皇室服紀令草案 確定	(不詳)			
41		英国皇帝同皇后両陛下戴冠式ニ関スル記事	(不詳)			
42		(英国「ゼ、タイムス」抜書)	(不詳)			
43		御当日御式次第 取調集 (23年 4月12日調)	明治23	1890	4	12
44		明道学校設立趣旨	(不詳)			
45		華族女学校会計規則	(不詳)			
46		吉野名勝誌 完	明治23	1890	4	1
47	1	梅田雲濱君碑文	明治16	1883	9	
47	2	(梅田雲濱君石碑建築における賛成諸家一覧)	明治16	1883	7	
48	1	宝暦紀事一件宙斎記ハ松方正熊殿へ貸渡事	(不詳)			
48	2	(宝暦事件につき)	(不詳)			
49		皇室会計条令	(不詳)			
50		(祭典出席願いにつき)	明治25	1892	1	
51		結城神社五百五十年祭概況	明治20	1887	5	
52		保冕金申込書	明治13	1880	11	
53		(保冕会会報)	(不詳)			
54		韓国事情 (1908年 1月17日倫敦発刊倫敦支那「エックスプレス」所載)	明治41	1908	1	17
55		読売新聞号外	明治26	1893	2	15
56		公道会ノ主意	明治23	1890	9	
57		(口演チラシ)	明治27	1894	3	
58		(慈善演劇チラシ)	明治27	1894	3	
59		(文書写)	(不詳)		11	20
60		官報号外	明治17	1884	10	18
61		(演劇チラシ)	明治25	1892	4	
62		水道建碑醸金之大意	明治19	1886		
63		改進黨新聞号外	明治26	1893	12	16
64		(演劇チラシ)	明治23	1890	1	26
65		(音楽会チラシ)	明治26	1893	4	
66		歌詞	(不詳)			
67		大日本私立衛生会雑誌号外	明治23	1890	2	17
68		北海道尚徳会	(不詳)			
69		皇典講究所事業綱領	(不詳)			
70		国家教育第壹号付録客員并社員名簿	明治23	1890	10	12
71		(寺田四郎「恩赦に就て私見を陳ふ」)	(不詳)			
72		(北海道開拓頌徳道標銘文)	(不詳)			
73		(皇典講究所事業拡張につき)	明治23	1890	8	25
74		(日本国風音楽大会につきチラシ)	明治26	1893	4	

作成者名	宛所	形態	封筒	備考
		冊子		305人の名前あり
		冊子		94人の名前あり
		冊子		297人の名前あり
		冊子		306人の名前あり
		綴		
京都婦人慈善会副会長大森齡子／ 会長公爵夫人伊藤梅子		綴		
華族同方会幹事		綴		
千家尊福		冊子		
		綴		
		綴		赤鉛筆で書き込みあり
官幣大社大神神社宮司兼官幣大社 檜原神宮宮司従五位西内成郷謹述		一紙		4枚あり
		一紙		
東京外国語学校々友会		一紙		
		綴		鉛筆で書き込みあり
河村金五郎		綴		
		一紙		
		綴		
		綴		
朱舜水記念会		冊子		
維新史料編纂会		冊子		
		綴		
		綴		「○英国皇帝陛下ト土耳其国謝恩使」「○英国皇帝陛下ト負傷労働者」等イギリス関係の記事についての抜書
茨城県水戸市上市桜町11番地 編 集兼発行者服部鉄石／茨城県水戸 市上市南三ノ丸2番地 印刷所柴 合名会社／茨城県水戸市上市南三 ノ丸2番地 印刷者栗田健夫		一紙		2枚あり
発行兼編集人富岡政信／印刷人太 田長吉／発行所東京神田区猿楽町 11地番野史台		綴		
内閣官報局		一紙		
		綴		
		綴		1ページ目欠
		綴		
		綴		
		綴		
		綴		鉛筆にて本文に書き込みあり
		綴		表紙分離につき注意
		綴		
		綴		朱書「建設マテハ発表セサル筈」
		綴		
		綴		鉛筆にて本文に書き込みあり
		綴		鉛筆にて本文に書き込みあり

【目録4】

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日
1		貴族院子爵議員補闕選挙人確定名簿	明治25	1892	5	26
2		貴族院伯爵議員選挙人確定名簿	明治44	1911	6	10
3		貴族院子爵議員選挙人確定名簿	明治23	1890	5	21
4		貴族院子爵議員補闕選挙人確定名簿	明治29	1896	8	20
5		五世以下ノ皇族男子ヲ臣籍ニ降スノ制義解草案	(不詳)			
6		(京都婦人慈善会会報)	明治41	1908	7	15
7		(近衛篤磨講演録「国務大臣ノ責任」)	(不詳)		1	21
8		(明道学校校資募集規則)	明治18	1885	4	
9		壱千九百〇壱年四月四日博覧会委員会取極 壱千九百〇貳年聖彼得堡府開設 第壱回古代及近代服装并附属品万国博覧会出品者ニ対スル規則	明治35	1902		
10		歌御会始次第	(不詳)			
11		皇基余芳	明治41	1908	4	2
12		東京音楽学校生徒卒業式順序	明治35	1902	7	5
13		第二回講演会目次	明治34	1901	4	27
14		皇室経済法	(不詳)			
15		大礼使官制ハ皇室令ヲ以テ制定スヘイトスル意見	大正4	1915	1	
16		日本赤十字社創立二十五年紀祝典之歌	(明治35)	1902		
17		日本赤十字社病院職員人名書	(不詳)			
18		神苑会解散報告書	(不詳)			
19		朱舜水記念会趣意書	明治45	1912	5	20
20		第一回講演速記録 (田邊太一「幕末の外交」)	明治44	1911	10	9
21		保続頼母子講方法	明治23	1890		
22		(英国ゼ、タイムス抜書)	(不詳)			
23		(服部鉄石「国家教育ト社会主義の衝突」)	明治39	1906	5	29
24		維新史料 第六十編	明治23	1890	7	10
25		警視庁東京府公報 第七百六十六号	明治25	1892	6	3
26		供奉官員心得	明治23	1890		
27		(日露戦争後の韓国に関する見解書上)	(不詳)			
28		明治43年10月19日会議議案高等女学校令中改正ノ件	明治43	1910	10	19
29		(明治41年勅令第292号中左ノ通改正につき)	(明治41 以降)	1908		
30		(恩赦令につき)	(明治41 以降)	1908		
31		皇室経済会議規程	(不詳)			
32		英国両陛下戴冠式及伊太利亚開国五十年祝典ニ関スル記事	明治44	1911		
33		(英国両陛下戴冠式及伊太利亚開国50年祝典ニ関スル記事)	(不詳)			
34		故内閣顧問贈従一位勲一等木戸公神道碑	明治39	1906		
35		各国産出之酒類付饗宴大要	(不詳)			
36		皇室経済法	(不詳)			
37		学習院会計規則	(不詳)			

宛 所	形態	封 筒	備 考
	罫紙綴		
	罫紙綴		
	罫紙綴		
	罫紙綴		
内閣総理大臣伯爵桂太郎殿	綴		
	綴		
内務卿松方正義殿／大蔵卿佐野常民殿	罫紙綴		
	罫紙綴		
	綴	薄墨色無地	南部行義を華族に列してほしいという嘆願書
	一紙		
	罫紙		「采女町精養軒」
香川様閣下	罫紙		明治天皇行幸の御通行の際に家を利用してほしいという内容
香川様御執次御中 上	罫紙		明治天皇行幸の御通行の際に家を利用してほしいという内容
宮内省御中 上	罫紙		明治天皇行幸の御通行の際に家を利用してほしいという内容
	一紙		癸未は明治16年
	一紙		
	一紙	「昭和廿年七月頃処分ノ探幽筆画ノ奥書き」	封筒入包紙共／「大横物浪鯉之画 探幽筆 狩野勝川院鑑定吟味札」
	一紙		「両之」とあり
	一紙		
	一紙	「佐野原神社書類絵図共」	
	綴		
	冊子		
	一紙		
	一紙		
	一紙		
	一紙		
	一紙		
	一紙		
	一紙		
	包紙		包紙「黒田清綱様」「渋谷国安福澤季連」
	封筒	薄墨色無地	
	封筒	「小松宮御品物調書」	
	封筒	「三島駅立木之来状」	

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	作成者名
44		皇位継承ノ事	(不詳)				
45		農事改良ノ卑見	明治21	1888	6		長井新吉
46		哀ムベキ革命製造者タル政府	(不詳)				
47		明治十九年下半季分歌会費成算簿	明治19	1886	12		
48		(勝野正倫贈位につき 附参考宮内省編纂殉難録稿抜書)	明治36	1903	8		子爵香川敬三
49		(出雲国造神賀詞奏上につき)	明治21	1888	2		従三位男爵千家尊福
50		内申書案	明治13	1880	5	13	茨城県令人見寧
51		御目録引合済ノ分	(不詳)				
52		(南部利泰嘆願書)	明治16	1883	12		華族 従四位南部利泰
53		一条家略系	(不詳)				
54		明治二十四年八月三日晚餐献立	明治24	1891	8	3	
55		(立木利兵衛願書)	明治17	1884	3	23	三島駅立木利兵衛(印)
56		(立木利兵衛願書)	明治17	1884	3	2	東海道三島駅旅館立木利兵衛(印)
57		(立木利兵衛願書)	明治17	1884	3	23	立木利兵衛(印)
58		黄楊小櫛序代	癸未		12		西尾為忠拜稿 / 重野安繹妄評
59		玄軒先生碑陰記	(不詳)				
60		(狩野探幽筆浪鯉之図吟味札)	(不詳)				
61		(「両之」を写した一紙)	(不詳)				
62		(赤坂区高樹町八番地縮図)	(不詳)				
63	1	佐野原神社碑記	明治15	1882	6		陸軍中将従四位勲二等谷干城 撰写 / 陸軍大将兼左大臣二品 大勲位熾仁親王篆額 / 陸軍歩 兵従五位勲四等長屋重名書
63	2	(上陳書、系図等綴)	(不詳)				
63	3	佐野原神社献詠集初編	明治22	1889	3	28	編輯兼発行者静岡県駿河国駿 東郡小泉村平松一番地平民服 部大八
64		永田町四丁目御用邸建家図	(不詳)				
65		(常楽庵図面)	(不詳)				
66		(図面)	(不詳)				
67		(本家ノ部間取り図)	(不詳)				東海道三島駅立木利兵衛(印)
68		(新築二階下ノ部・在来二階下ノ部間取り図)	(不詳)				東海道三島駅立木利兵衛(印)
69		(新築奥二階ノ部・在来奥二階ノ部間取り図)	(不詳)				東海道三島駅立木利兵衛(印)
70		赤坂見附有栖川宮様御邸御絵図面式百分之壺	(不詳)				
71		(包紙)	(不詳)				
72		(封筒)	(不詳)				
73		(封筒)	(不詳)				
74		(封筒)	(不詳)				

宛 所	形態	封 筒	備 考
	罫紙綴		
	罫紙綴		「文學御用掛」の印あり
	罫紙綴		「右東京朝日新聞四十一年十一月廿七日所載」とあり、記事の抜書きと考えられる
	綴		
宮内大臣子爵田中光顕殿	綴		綴紐が切れているため注意
	罫紙綴		「右長野縣諏訪郡中洲村守矢玄医氏寄書 明治廿四年冬日福羽美静」
	綴		
	罫紙綴		「三十三年一月廿日返却」の記述がみられる
	罫紙綴		
	綴		明治元年9月26日条から11月4日条の抜書
	罫紙綴		
	罫紙綴		庚戌は明治43年
	綴		
山尾庸三殿	綴		絵図付
	綴		
	綴		奥書「順義長男栗原平太郎写之明治十五年四月十一年七ヶ月」
正五位様	切紙		「儉約意文」に挟まっていたもの
	綴		奥書「順義長男栗原平太郎写之明治十七年七月十三年四ヶ月」
参議宮内卿従三位勲一等伯爵伊藤公閣下	綴		戊辰戦争、西南戦争の賊軍として扱われた戦没者を祀ってほしいという内容
	綴		図付
	罫紙綴		
	綴		
	綴		
	綴		
	罫紙綴	「袋町鈴木町地坪建家調書」	
	罫紙綴		
	一紙		
	綴		
	罫紙綴		
	罫紙綴		
	罫紙綴		
	綴		
	罫紙綴		「故章子内親王百日御祭典次第」についても記載
	罫紙綴		
	罫紙綴		
	罫紙綴		

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	作成者名
11		伶人参向ノ廉改定ノ見込	(不詳)				
12		(布告布達の類書写)	(不詳)				
13		西太后ト日置令嬢 日置公使談	明治41	1908	11	27	
14		久光親話紀ヲ奉ルニ就テ上申	明治22	1889	10		
15		山陵御修補事件ニ付上申書	明治33	1900	2		正四位戸田忠綱
16		集奇石序	明治24	1891			福羽美静
17		大和行啓御道志留倍	(不詳)				
18		現品取調ノ分	(不詳)				
19		高等師範學校ヘ行啓御次第	(不詳)		5	29	
20		熾仁親王行實卷十	(不詳)				
21		故川路聖謨事蹟ノ要略	(不詳)				
22		庚戌春觀維新志士遺墨展覽會有感百三十韻	(不詳)				蕃堂 結城琢
23		(御幸御殿につき物品書上)	(不詳)				
24		行幸御道筋之儀建言	(不詳)		2	4	鹿児島県士族 山城祐之
25		山田唄紅葉の賀	(不詳)				前田みね扣
26	1	儉約意文	明治15	1882	4		栗原順義述ノ順義長男栗原平太郎写之
26	2	(栗原順義書簡)	明治17	1884	11		栗原順義
27		一家和楽文	明治17	1884	1		栗原順義述ノ順義長男栗原平太郎写之
28		(戊辰遺功の死者を祀るにつき祭祀若干の嘆願書)	明治18	1885	6		稲葉正邦ノ田中頼庸ノ柴田花守(他9名)
29		契約書	明治19	1886	9	29	別当皇大神社大世話人石沢弥治右エ門印ノ深谷平兵エ印ノ石沢幸得印ノ全世話方平山忠印ノ秋山源介印(他15名)
30		(華族女性名簿)	(不詳)				
31		甲号御品目録	(不詳)				
32		乙号御品目録	(不詳)				
33		斬奸状附録	(不詳)				
34	1	駿河台袋町九番地ヨリ拾一番地迄鈴木町十二番地ヨリ十七番地迄地坪調	(不詳)				
34	2	駿河台袋町九番地ヨリ十一番地迄鈴木町十二番地ヨリ十七番地迄建家調	(不詳)				
34	3	(袋町周辺地図)	(不詳)				
35		故水郡善之祐紀長雄之履歴	明治25	1892	4		大坂府河内国錦部郡甘山村大字甲田七番地士族検事在職水郡長義(印)幼名英太郎改称清馬
36		明治十六年十月御参考書	明治16	1883	10		長野県平民信濃国小県郡本海村矢島行康印
37		高山彦九郎神号許可并贈位之事	明治11	1878	2	25	
38		皇城経営ノ儀ニ付建言	明治15	1882	5	14	栃木県平民東京麹町区有楽町二丁目三番地 寄留神宮主典青木陳実(印)
39		小児養育十種之法	(不詳)				
40		故韶子内親王百日御祭典次第	明治16	1883	12	14	
41		皇位継承ノ事	(不詳)				
42		皇族令	(不詳)				
43		皇位継承ノ事	(不詳)				

封筒宛名	消 印	形態	備 考	書 き 出 し
調度局にて長崎宮中顧問官閣下		書簡	英国大使帰国の日限につき示教に対する礼／徳川篤敬娘写真呈上につき縁談のことか差支えなければ教えてほしい	拝啓益御安祥奉敬賀候先日者英国大使帰国日限等中善寺ニ而御聞取之件
長崎調度頭閣下		書簡	雛道具調整の件／閑院宮縁談の件	拝啓余寒之候益御安康奉敬賀候御書中所勞御尋被下難有奉拝謝候
宮中顧問官長崎省吾殿		書簡	伏見宮暇乞参内に付貴官へも皇后陛下下拝謁仰付らる	拜啓然者明廿三日午前十一時二十分伏見宮殿下御暇乞御参内ニ付同時貴官へモ
長崎調度頭閣下		書簡	奥方外2人米国行ニ付拝謁の件	拝啓過日者御参候久々ニ而得拝顔種々御高話相伺難有奉拝謝候扱其節
調度寮長崎様		書簡	閑院宮縁談一件ニ付公侯伯当主嗣子等未婚の輩を取調べたのでいつ参殿したらよいか／伯は必要ない由だったが念の為調べた	拝啓然ハ先日申上候閑院宮御縁談一件ニ付公侯伯当主嗣子等未婚之輩取調べ出来候間
長崎調度頭閣下		書簡	夫人外2人沼津へ参候の通達に対して礼を述べたもの	尊書拝見仕候然ハ来ル七日午前八時半新橋発汽車ニ而令夫人様外二人当沼津へ御参候
長崎調度頭閣下		書簡	米国加州産オレンジ35個献上皇后陛下へ披露のこと24日沼津へ御機嫌伺に参候の由言上した	拝啓皇后陛下益御機嫌能被為成恐悦之至ニ奉存候閣下益御壮栄奉敬賀候然ハ米国カルホルニヤ

宛 所	形態	封 筒	備 考
	罫紙綴	「松平越前公之御書面」	戊辰は明治元年
	一紙	「宮内官制服着用規程 四十四年十一月一日ヨリ施行」	未開封
	一紙		包紙あり／包紙「大迫陸軍中將か大坂の客舎ニ而読たる哥明治卅七年十一月宮本侍従武官持□□り」とあり
孫七郎様 / 敬三様	書簡	表「杉大輔殿 香川少輔殿 親展」裏「御用掛 伊藤華」	封筒に鉛筆書きで「明治17年5月頃か?」とあり
	罫紙綴		
香川殿（香川敬三）	書簡	表「香川敬三殿」裏「中御門経明」	
	綴		
	罫紙綴		
	罫紙綴		
宮内卿徳大寺実則殿	罫紙	表「宮内卿徳大寺実則殿 御親展」裏「五月十五日 東京日比谷神宮教院 神宮主典青木陳実」	皇城経営に関する建言書の速やかな執奏を願っている
	切紙	「明治二十三年一月十一日 両陛下宮城へ御移転之節御贈進品目録」	明治22年のものであるが、封筒は「明治二十三年」とあり
	一紙	薄墨色無地	
小林大人（香川敬三）	切紙		包紙二枚あり／「小林彦次郎殿 千秋」「小林彦次郎殿 内々啓 具定」／小林彦次郎は香川敬三の異名
	綴		罫紙1枚、図3枚

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	作成者名	宛名	封筒差出
65		香川敬三書簡	(不詳)		9	13	敬三	長崎様侍史	香川敬三
66		香川敬三書簡	(大正)		2	15	敬三	長崎調度頭閣下	香川敬三
67		香川敬三書簡	明治40	1907	1	22	皇后宮大夫子爵香川敬三	宮中顧問官長崎省吾殿	皇后宮大夫子爵香川敬三
68		香川敬三書簡	(不詳)		2	27	敬三	長崎様侍史	香川敬三
69		香川敬三書簡	(不詳)		9	15	敬三	長崎様	敬三
70		香川敬三書簡	(不詳)		3	2	敬三	長崎調度頭閣下	香川敬三
71		香川敬三書簡	(不詳)		3	19	敬三	長崎省吾調度頭閣下	香川敬三

【目録3】

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	作成者名
1		戊辰日記 二月ノ中抜書	(不詳)				
2		宮内官制服着用規程	明治44	1911	11	1	
3		大迫陸軍中將か大坂の客舎ニ而読たる哥	明治37	1904	11		
4	1	(伊藤華書簡)	(明治17)	1884	3	25	華
4	2	土佐所蔵品目録	明治13	1880	5		土族 土佐光武
5	1	舌代	(不詳)		4	20	経明(中御門経明)
5	2	旧御黒戸之儀ニ付具申	明治17	1884	4		従四位中御門経明
5	3	御所御黒戸御尊体数并ニ御内儀ニテ毎月御供物記	(不詳)				
5	4	恭明宮江御黒戸御遷座后御日供記	(不詳)				
6		(青木陳実書簡)	明治15	1882	5	15	東京日比谷神宮教院 神宮主典青木陳実(印(青木))
7		(明治22年1月11日兩陛下宮城へ御移転之節御贈進品目録)	明治22	1889	1	11	
8		偕楽園記	(不詳)				
9		(岩倉具定書簡)	(不詳)		(4)	28	子静 (岩倉具定)
10		(鉄製鶴鳥家図面)	明治33	1900	2	16	主任 木島金次(印(金次))

封筒宛名	消 印	形態	備 考	書 き 出 し
東京麹町区紀尾井町七番地 香川桜男殿	安芸広島28年4月4日／武蔵東京28年4月6日	封筒	親展	
東京麹町区紀尾井町七番地 香川桜男殿		封筒	親展	
麹町区紀尾井町五子爵香川敬三殿	[]13日／東京麹町37年10月14日	封筒	封筒のみ	
東京麹町区紀尾井町子香川皇宮大夫閣下	相模[]／東京35年1月3日	封筒	封筒のみ	
東京宮内省調度寮長崎調度頭殿	沼津41年3月2日	書簡	参候拜謁の礼の件言上、皇太子殿下御慶事につき各国公使公使館員招待の件などについては未定のこと了承	拜啓益御多祥奉敬賀候過日は御機嫌御伺とし而御参候御満足ニ被為思召候
長崎調度頭閣下		書簡	拜謁の礼、下賜品の礼ともに言上した	謹啓閣下過日ハ皇后陛下御機嫌御伺トシテ御参候御満足ニ被思召候扱其節ハ
長崎宮中顧問官閣下		書簡	10月25日の午餐招待の請	拜啓然ハ本月二十三日午餐ニ御招待被成下御請仕置候所同日ハ宮中午餐ニ而御差支ニ付
調度寮ニ而長崎様		書簡	松方侯爵より招待の女官は権掌侍以上で可然	拜啓然ハ過刻御尋御座候松方侯爵閣下ハ御招待之女官ハ権掌侍以上ニ而
長崎閑院宮別当閣下		書簡	閑院宮縁談につき金子堅太郎より別紙のように会いたいといっているが、帰京の予定がないので長崎から金子に会って話を聞くように	拜啓余寒之候益御安康奉敬賀候然ハ金子堅太郎氏ハ別紙書状到来ニ而小生へ面会之儀
東京宮内省調度寮長崎調度頭閣下	沼津43年3月5日	書簡	佐々木侯爵薨去の件哀悼の至、大隈伯より国民読本2部送付1部は特別製なので献上のつもり、女官たちへも恵与の由現在人数は3人、入院中も入れると4人	謹啓余寒之候ニ御座候処皇后陛下益御機嫌能被為成恐悦之至ニ奉存候
東京調度寮長崎調度頭閣下	沼津43年3月15日／丸□□3年3月16日	書簡	大隈伯より供奉女官へ国民読本5冊を送付してくれたので礼は長崎より頼む	拜啓然ハ大隈伯ハ供奉女官へ国民読本五冊御送附相成正ニ落手仕候
長崎元調度頭殿		書簡	昭憲皇太后御残し品下賜／別紙目録あり	拜啓然者昭憲皇太后御残シ品別紙目録之通内々賜り候間御拜領相成度此段申進候也
長崎宮中顧問官閣下		書簡	志保子招待の礼観菊会で皇后陛下御用奉仕の件等々の礼／別紙別啓にミセスプレーザーへ送金の件取計に対する礼	尊書拜見仕候益御多祥奉敬賀候過日者御来車被成下奉拜謝候將又過日者志保子
長崎様侍史		書簡	内々被下金200円内蔵寮より受領の礼	拜啓然ハ近日之内地方へ御出張之由時候不順ニ付御自愛專一奉祈上候
東京宮内省長崎調度頭閣下		書簡	アーサーコンノート殿下の親書翻訳御覧に入れ皇后陛下も御感じ遊ばされた／別紙別啓は、敬三が依頼した品を帰京する迄預かられたい	拜啓過日者皇后陛下御機嫌御伺且御波渡之際御注文之御品々御持参御祇候之節御対面
		書簡	調度頭より内話の品受領／封筒は和歌を記した紙を仕立てているが、あとから作成	調度頭閣下より御内話御座候御品御届被下正ニ落手仕候不取敢右御請込如此御座候

No	枝	史料名	年	西暦	月	日	作成者名	宛名	封筒差出
50	1	(封筒)	明治28	1895	4	4			広島大本営内 香川敬三
50	2	(封筒)	(不詳)		4	4			広島大本営 香川敬三
51		(封筒)	明治37	1904	10	13			東京市赤坂区高樹町八番地 高崎正風
52		(封筒)	明治35	1902	1	3			相州葉山村 三宮義胤
53		香川敬三書簡	(明治41)	1908	3	2	敬三	長崎賢台閣下(長崎省吾)	沼津御用邸香川敬三
54		香川敬三書簡	(不詳)		3	3	敬三	長崎様侍史	香川敬三
55		香川敬三書簡	(不詳)		10	17	敬三	長崎様侍史	香川敬三
56		香川敬三書簡	(不詳)		11	8	敬三	長崎様	香川敬三
57		香川敬三書簡	(不詳)		2	19	敬三	長崎閣下侍史	香川敬三
58		香川敬三書簡	明治43	1910	3	5	敬三	長崎調度頭閣下	駿河沼津御用邸香川敬三
59		香川敬三書簡	明治43	1910	3	15	敬三	長崎調度頭閣下	沼津御用邸香川敬三
60		香川敬三書簡	大正3	1914	8	27	元皇太后宮大夫伯爵香川敬三	長崎元調度頭殿	元皇太后宮大夫伯爵香川敬三
61		香川敬三書簡	(不詳)		11	14	敬三	長崎閣下侍史	香川敬三
62		香川敬三書簡	(不詳)		5	15	敬三	長崎様侍史	敬三
63		香川敬三書簡	(明治44)	1911	2	20	敬三	長崎賢台閣下侍史	沼津御用邸香川敬三
64		香川敬三書簡	(不詳)		6	28	香川敬三	調度寮	

封筒宛名	消 印	形態	備 考	書 き 出 し
香川皇后大夫殿		書簡	拝復／「宮内省」印あり	拝啓然ハ今日午後二時西五辻嬢参上之儀御申越之旨申上置候間此段御答及候
香川皇后大夫殿		書簡	拝復	拝読然ハ粟田口男爵嬢綾子本日着京致候ニ付只今御面会被成候由何も拝承候
香川皇后大夫殿		書簡	親展／「宮内省」印あり	今朝者御投書之處参朝掛ケ不呈即報欠敬候扱粟田口嬢昨日着京之儀言上致し御覽之日時奉伺候
香川子爵殿		書簡		拝啓益御清穆大賀奉存候然ハ兼て相願置候四条家□□之件速に御廻被下候而
麴町区紀尾井町香川敬三殿	[]本所35年2月2□日	書簡	親展	余寒未タ去兼候処弥御清榮奉賀候然者先般来南部子爵進退ニ関シ種々御高配被下奉謝候
麴町区紀尾井町香川敬三殿		書簡	親展	華墨拝誦仕候然者今朝御内話仕候件早速御筋へ御問合セ之上別紙写を御廻被下奉深謝候
東京 香川皇后宮大夫殿	駿河沼津32年1月12日/[]東京32年1月13日	書簡	必親展	謹啓陳者貞宮御儀誠ニ不寄思食御事ニ而両陛下思食之程奉恐察深奉恐入候
香川皇后大夫殿		書簡	必親展／「1月10日朝」	肅啓先以新禧之祝賀申入候益聖上皇后両陛下御機嫌能被為成恐悦至極ニ奉存候
香川皇后宮大夫殿		書簡	親展	肅啓両陛下益御機嫌克被為成恐悦至極ニ奉存候皇太子殿下ニも御機嫌能当地御滞在被遊恐悦ニ奉存候
香川皇后宮大夫殿		書簡	親展／「皇后陛下御覽濟」朱印あり	尊翰拝誦仕候両陛下益御機嫌能被為成恐悦至極ニ奉存候皇太子殿下ニも愈御機嫌克昨日ハ
香川皇后大夫殿		書簡	必親展／「皇后陛下御覽濟」朱印あり／「10月13日朝」	拝誦仕候両陛下益御機嫌能被為成恐悦奉存候皇太子殿下御機嫌能去る十日御予定之通り大磯
香川皇后宮大夫殿		書簡	必親展／「皇后陛下御覽濟」朱印あり／「10月14日朝」	拝啓陳者十二日午後御認之貴翰拝読仕候殿下御機嫌御伺之趣早速言上仕候処御満足被遊候
香川皇后宮大夫殿		書簡	必親展／「皇后陛下御覽濟」朱印あり	謹啓追々冷氣相催候処両陛下益御機嫌能被為在恐悦至極ニ奉存候
麴町区紀尾井町香川子爵殿	東京麻布35年2月16日	書簡	親展	余寒烈敷候処弥御清祥賀賀々々先般御厚意ニテ品川家所有之邸宅売却ニ付御示被下候件ハ
麴町区紀尾井町香川敬三殿	東京[]35年2月10日	書簡	拝復	拝誦陳ハ御願仕候皇后陛下御詠歌写御下附被成下正ニ拝受仕候
麴町区紀尾井町伯爵香川敬三殿	小石川1年11月3日／麴町1年11月3日	書簡	親展	拝啓愈御安康奉賀候陳ハ前日願上候水戸烈公書画御鑑定之御揮毫早速御出来ニテ
香川太夫殿		書簡	親展／41と関連カ	拝啓陳者皇后陛下月並御題ニテ菅公御詠被遊候御趣ニ付右御詠ヲ菅公会へ写賜り度趣申出候
香川太夫殿		書簡	親展	拝誦杉太夫書面云々貴官御考案共夫々承知仕候可相成御手厚キ御所分相成度段ハ本官之素志
府下麴町区紀尾井町子香川敬三様	武蔵東京三田31年7月7日	書簡		御書面拝披来八日露国親王参内統而御対食ニ付而ハ万々之御配慮不堪恐察候
府下麴町区紀尾井町子爵香川大夫閣下内	東京三田35年1月29日	書簡	46-1の封筒中に、書簡と46-2あり	益御清康被為入大慶之□奉存候陳本日別紙到達仕候ニ付入尊覧候富田某も
東京市芝区高輪北町廿五 三宮義胤様	駿河由比35年1月28日／東京35年1月29日	書簡	「乍恐親展ヲ奉乞」／「1月28日午後□8時9分」	謹奉拝啓仕候時節柄甚寒難堪御座候得共益御機嫌克被為遊御座
東京宮内省 香川皇后大夫殿	山城京都五条30年9月27日／武蔵東京30年9月29日	書簡	親展	謹啓秋霖冷然候処益御健栄被為在奉欣賀候然者当地御滞在中ハ毎々拝鳳
香川皇后宮大夫殿		書簡	親展	謹啓日々御□晴御同慶至極ニ奉存候過日来御訪□□存候正金株之儀為取調候処
		一紙	控えカ	松方正義妻病氣昨日御尋トシテ御まな御菓子被下難有拝領仕不取敢

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	作成者名	宛名	封筒差出
27		徳大寺実則書簡	(不詳)		2	10	実則	香川大夫殿	徳大寺実則
28		徳大寺実則書簡	(不詳)		2	20	実則	香川様	徳大寺実則
29		徳大寺実則書簡	(不詳)		2	21	実則	香川大夫殿	徳大寺実則
30		徳川篤敬書簡	(不詳)		7	8	徳川篤敬	香川子爵殿	東京本町新小梅 老徳川篤敬
31		徳川昭武書簡	明治35	1902	2	21	徳川昭武	香川敬三殿	本所新小梅町一番 徳川昭武
32		徳川昭武書簡	(明治34)	1901	11	4	徳川昭武	香川敬三殿	本所新小梅町一番地 徳川昭武
33		中山孝麿書簡	(明治32)	1899	1	12	孝麿	香川大夫閣下	沼津御用邸 中山孝麿
34		中山孝麿書簡	(不詳)		1	10	孝麿	香川大夫閣下	沼津御用邸 中山孝麿
35		中山孝麿書簡	(不詳)		7	26	孝麿	香川大夫閣下	中山孝麿
36		中山孝麿書簡	(不詳)		9	28	孝麿	香川大夫閣下	大磯鍋嶋侯爵別邸 中山孝麿
37		中山孝麿書簡	(不詳)		10	13	孝麿	香川大夫閣下	京都 中山孝麿
38		中山孝麿書簡	(不詳)		10	14	孝麿	香川大夫閣下	京都 中山孝麿
39		中山孝麿書簡	(不詳)		10	31	孝麿	香川大夫閣下	京都 中山孝麿
40		野村靖書簡	明治35	1902	2	16	靖	香川老台御吏	麻布区三河台町二十八番 野村靖
41		土方久元書簡	明治35	1902	2	10	土方久元	香川賢台	小石川林町土方久元
42		土方久元書簡	大正元	1912	11	2	土方久元	香川賢台下	小石川林町 土方久元
43		土方久元書簡	(明治35)	1902	2	9	久元	香川賢台	土方久元
44		土方久元書簡	(不詳)		3	10	久元	香川殿	土方久元
45		三宮義胤書簡	明治31	1898	7	6	義胤	香川様	芝高輪 三宮義胤
46	1	三宮義胤書簡	明治35	1902	1	29	義胤	香川様	芝高輪 三宮義胤
46	2	富田九郎書簡	明治35	1902	1	28	九郎	三宮様閣下（三宮義胤）	静岡県庵原郡由比町四十二番地 富田九郎拝
47		村田寂順書簡	明治30	1897	9	26	妙法院寂順	香川敬三様	京都大仏妙法院門跡 村田寂順
48		渡辺千秋書簡	(不詳)		2	18	千秋	香川大夫閣下	渡辺千秋
49		言上書	(不詳)		6	22	敬三		

封筒宛名	消 印	形態	備 考	書 き 出 し
		書簡		斎藤桃太郎殿不幸供物札ハ香川敬三ト認爵杯書き不申方ニ相願候
東京麹町区紀尾井町 香川桜男殿	沼津3年1月6日／ 麹町3年1月7日	書簡	親展／青鉛筆にて封筒に「祝品贈呈取斗之件共8/1返翰済」とあり	拝啓先日者久々候ニ而得拝顔欣喜之至ニ存候御手紙被下拝見致候皇太后陛下ニハ御機嫌ハ
		一紙	クリップにて一括／宮内省野紙／「1月5日午前10時55分著」	明六日午前十一時三十四分貴地着ノ汽車ニテ寺内総督御機嫌伺ヒノ為メ伺候セラル随行ハ岩村海軍少将池辺秘書官篠田副官ナリ
		一紙	同上／「1月5日午前11時半発」	貴電拝見皇太后陛下昨夜来少シク御風気(カゼ)ノ気味ニテ御用心アラセラル明六日御参邸アルモ拝謁ハ六ヶ敷ク存ズ不日御全快ノ上御参邸日時電報ニテ申進ズベシ
		一紙	同上／「1月5日午前0時59分発」	貴電拝見皇太后陛下昨夜来少シク御風気(カゼ)ニテ御ヤスミ遊バサル明六日御参邸アルモ拝謁ハ六ヶ敷ク存ズ不日御全快ノ上御参邸日時電報ニテ申進ズベシ念為メ返電ヲ乞フ
		一紙	同上／「1月5日午後4時10分発」	六日御参候拝謁ハ皇太后陛下御差支ニ付藤田副官ヘ電報ニテ申入レタリ御覽アリシ申返電ヲ乞フ
		一紙	同上／「1月5日午後6時30分受」	貴電拝承明日ノ参候見合ハスベシ藤田ヨリモ通知アリシ
		一紙	同上／「1月5日午後11時10分」	貴電敬承寺内総督明日伺候取止メラレタルニ付此旨申上グ
宮内省皇后職 香川皇后大夫殿		書簡	親展	謹啓大暑中皇后陛下益御機嫌能被為渡奉恐悦候当地貞宮殿下御機嫌克被為御滞在是亦
香川大夫閣下		書簡	必親展／「皇后陛下御覽済」朱印あり／「宮内省」印あり	皇太子殿下御進級之件来三日殿下へ上申方只今侍従長へ御尋仕候処昨夕俄ニ
香川様		書簡	親展	拝呈炎暑甚敷候処先以聖上皇后両陛下益御機嫌能被為在御座恐悦至極ニ奉存候
香川大夫殿		書簡	親展	今朝御書面拝読仕候来客中御答不仕候本日ハ会議有之青山へ御出相成兼候
香川大夫殿		書簡	内啓	肅啓昨日ハ臥褥中失敬仕候其節御内談之書付校正浄写差出候御一覽被成下猶御意見之処有之候
		書簡		概算 正金銀行株旧五百株新五百株旧新売却拾五萬四千貳百五拾円也当季配当三千七百五拾円也
		書簡		徳川侯岩倉具綱矢野□□氏山崎調度局長数氏ヲ加へ候へハ近衛公爵者加入之方宜しからん
香川大夫殿		書簡	親展	拝啓昨日ハ皇后陛下思食を以御菓子御肴料下賜難有頂戴仕候
香川大夫殿		書簡	拝復／20と関係あるカ	御示之趣敬承仕候御遺物御遺金調書侍従長へも調印相願置候
子爵香川敬三殿		書簡	親展／「従五位男爵 佐竹正一」名刺、書簡に挟まっていた／破損が激しいので注意	拝啓春寒甚敷候處益御清安恭賀之至ニ存候陳者男爵佐竹尚一氏御面会相願度事有之後ニ而
		折紙	千種任子(ちくさことこ)／園祥子(そのさちこ)	梅雨中なからよき晴におはしまし候愈御揃被遊御機嫌よく成らせ給忝くまいらせ候いよいよ御前様
后宫職ニ而 香川敬三殿	()30年3月9日	綴	親展	津守家略伝祖先火明命以来歴朝ニ奉仕シ津守氏津守姓氏上宿祿連朝臣及官位ヲ賜ヒ
香川皇后宮大夫殿		書簡	親展／「宮内省」印あり	拝啓然ハ西五辻嬢御覽ニ相成候ニ付来十日午後参り候様御達し相成度早々申進候

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	作成者名	宛名	封筒差出
14	2	香川敬三別紙	(大正2)	1913			(香川敬三)		
15	1	香川敬三書簡	大正3	1914	1	6	敬三	桜男殿	駿州沼津御用邸 香川敬三
15	2	電報写	大正3	1914	1	5	藤田副官	香川皇太后宮大夫 (香川敬三)	
15	3	電報写	大正3	1914	1	5	東京市麻布区筈町 寺内大将方 藤田 副官	香川大夫	
15	4	電報写	大正3	1914	1	5	相州大磯町和田別 荘 寺内大将方 藤田副官	香川大夫	
15	5	電報写	大正3	1914	1	5	相州大磯町和田別 荘 寺内朝鮮総督	香川皇太后宮大夫	
15	6	電報写	大正3	1914	1	5	寺内	香川大夫	
15	7	電報写	大正3	1914	1	5	藤田副官	香川皇太后宮大夫	
16		楫取素彦書簡	(不詳)			7 30	楫取素彦	香川大夫殿侍曹	群馬県北甘楽郡妙義 町貞宮御旅館 楫取 素彦
17		斎藤桃太郎書簡	(不詳)			11 1	斎藤桃太郎	香川大夫閣下	桃太郎
18		佐々木高行書簡	(不詳)			7 26	佐々木高行	香川殿	佐々木高行
19		杉孫七郎書簡	(不詳)			3 9	孫七郎	香川殿	孫七郎
20	1	杉孫七郎書簡	(不詳)			3 14	孫七郎	香川賢台	孫七郎
20	2	概算(杉孫七郎書 簡)	(不詳)						
20	3	杉孫七郎書簡	(不詳)						
21		杉孫七郎書簡	(不詳)			3 15	孫七郎	香川殿	孫七郎
22		杉孫七郎書簡	(不詳)			3 18	孫七郎	香川大夫殿	孫七郎
23		千家尊福書簡	(不詳)			2	千家尊福	香川子爵殿	(破損の為判読不能)
24		千種任子・園祥子 消息	(不詳)				典侍任子／同 祥 子	香川大夫様へ	
25		津守家略伝	明治30	1897		3 5	大阪府華族 従四 位男爵津守國美 (印)		金子有卿 東京市麻 布区谷町五拾八番地
26		徳大寺実則書簡	(不詳)			2 8	実則	香川皇后大夫殿	徳大寺実則

封筒宛名	消 印	形態	備 考	書 き 出 し
		封筒		「明治三十年皇太子殿下御違例之節短刀献上之事岩倉公之書面在中」
香川大夫殿		書簡	乞親展／裏書「岩倉書面」／「8月31日夜8時」	此三十日御認御書拝読致候皇太子殿下ニモ其後引続き先御順宜之方ニ被為在御同慶此事ニ奉存候
香川大夫殿		書簡	必親展／「11月14日午後9時」	謹啓聖上益御機嫌克被為在昨日今日共御予定通御着輦被為遊奉恐賀候
宮内省徳大寺侍従長殿／香川皇后宮大夫殿		書簡	親展／「宮内省」印あり	拝啓聖上弥龍顔御麗布予定之時刻御着被遊御同慶ニ奉存候
東京宮内省香川皇后宮大夫殿	撰津大阪高麗橋31年11月25日	封筒	親展／書留／「書留高麗橋大阪大手769」と書かれた札あり／「宮内省」印あり	
香川大夫殿		書簡	親展／「11月15日午後6時」	肅啓聖上益御機嫌克御駐輦被為遊奉恐賀候御寢食共ニ御平常通りニ被為在候趣誠ニ恐悦御同慶奉存候
香川子爵殿		書簡	必乞親展／「宮内省」印あり	朶雲拝読仕候然者御申越之一件ハ兼々小生窃ニ考慮罷在候義ニテ
香川子閣下		書簡	必乞親展	朶雲拝読仕候陳ハ九條一條兩家云々之事ハ成否固ヨリ思召ニ被為在候事ニテ何共昨今之事ニハ無之候
子香川敬三閣下		書簡	親展	肅啓然ハ過日御話仕候雜誌彈正台供御内覽候右ハ發行停止ニ相成候ニ付難申上候得とも
		書簡		華翰拝読仕候然ハ一條九條兩家授爵一件一條家ハ民法上不得已此際ハ御見合セ九條家ノミ申立候事御異存も無之趣
香川大夫殿		書簡	親展／「宮内省」印あり	拝啓然ハ一條家授爵一件桂谷御承知之通りニ有之候間小生も此際ハ御見合セ之方
		書簡	桂潜太郎の字カ	爵ヲ授クルハ憲法上絶対的天皇ノ大権ナリ故ニ現行法律上何等ノ制限ヲ受クルコトナシ從テ一條公爵ノ子ニ何爵ヲ授ケラルハモ只大命ノ俣ナリ
東京市大森区田園調布三ノ七二 香川正子様	東京小金井16年3月5日／田園調布16年3月6日	書簡	速達／親展／切手がはがれているため注意	前文御用捨被下度候引き続き御不幸に加へて兎角御病氣勝にて如何計か御心痛之御事と
東京麹町区紀井町香川桜男殿	駿河沼津42年2月7日／麹町42年2月7日	書簡	親展／端に「母君ニも可申入候事」とあり	口上本日本郷少将より別紙申越候間為念申入候同人方へ発表之上ハ
		書簡	端に「本郷少将之返翰扣」とあり	拝啓春寒之候益御安祥奉敬賀候扱先般内願仕置候桜男渡仏前陸軍省ニ於而軍務研究之件
沼津御用邸ニテ伯爵香川敬三殿	〔 〕2月6日／駿河沼津42年2月7日	書簡	親展／「消毒済」朱印あり	拝啓春寒料峭未去候処益御清健奉大賀候扱先般御内話有之候御令息桜男君御渡仏前
東京麹町区紀尾井町 香川桜男殿	麹町42年3月18日	書簡	親展／墨丸あり	口上過日来申入候御扱下邸地之事ニ付林野局佐々木主事へ石山ノ内々相尋候
		書簡		本日ハ東京大雪之由寒氣もつらき事と存候御大事ニ被成度候老生ハ無事姉も無事御安心可被下候也
東京麹町区紀尾井町 香川桜男殿	沼津2年7月5日／麹町 2年7月5日	書簡	親展	拝啓不順之候ニ候得共皇太后陛下何之御申分も不被為在難有事ニ奉存候
東京麹町区紀尾井町 香川桜男殿	〔 〕2年6月27日／麹町2年6月27日	書簡	親展	先日ハ御帰朝久々ニ而得拝顔欣然大悦筆紙ニ尽シかたく存候
東京麹町区紀尾井町 香川桜男殿	駿河沼津〔 〕／麹町 2年 2月12日	書簡	親展／赤丸あり	口上書御書面被下正ニ拝見致候御一同御無事之由珍重存候老生及姉無事奉仕致居候間

【目録2】

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	作成者名	宛名	封筒差出
1	1	(封筒)	明治30	1897					
1	2	岩倉具定書簡	(明治30)	1897	8	31	岩倉具定	香川大夫殿	岩倉具定
2		岩倉具定書簡	(明治31)	1898	11	14	在大坂具定	香川大夫殿	岩倉具定
3		岩倉具定書簡	(明治31)	1898	11	14	岩倉幹事	徳大寺侍従長殿 (徳大寺実則)/香川 大夫殿	大阪大本営岩倉侍従 職幹事
4	1	(封筒)	(明治31)	1898	11	25			大阪大本営岩倉侍従 職幹事
4	2	岩倉具定書簡	(不詳)		11	15	具定	香川大夫殿	岩倉具定
5		岩倉具定書簡	(不詳)		2	6	具定	香川子閣下	岩倉具定
6		岩倉具定書簡	(不詳)		2	10	具定	香川子閣下	岩倉具定
7	1	岩倉具定書簡	(不詳)		2	18	具定	香川子閣下	岩倉具定
7	2	岩倉具定書簡	(不詳)		2	20	具定	子香川敬三閣下	
8	1	岩倉具定書簡	(不詳)		2	20	具定	香川子閣下	岩倉具定
8	2	岩倉具定書簡	(不詳)		2	20			
9		岩村俊武書簡	昭和16	1941	3	5	俊武拜	正子様(香川正子)	小金井 岩村俊武
10	1	香川敬三書簡	明治42	1909	2	7	(香川敬三)	桜男殿(香川桜男)	沼津御用邸 香川敬 三
10	2	香川敬三書簡控	(明治42)	1909	2	7	敬三	本郷陸軍少将閣下 侍史(本郷房太郎)	
10	3	本郷房太郎書簡	明治42	1909	2	6	本郷房太郎	伯爵香川敬三閣下 執事	陸軍省人事局 陸軍 少将本郷房太郎
11	1	口上(香川敬三書 簡)	明治42	1909	3	17	敬三	桜男殿	沼津御用邸 香川敬 三
11	2	香川敬三書簡	(明治42)	1909				桜男殿/すま子殿/ 正子殿/あき子殿/ 英男殿/文子殿	
12		香川敬三書簡	大正2	1913	7	5	敬三	桜男殿	駿州沼津御用邸 香 川敬三
13		香川敬三書簡	大正2	1913	6	27	敬老人三	桜男殿	静岡県沼津御用邸 香川敬三
14	1	香川敬三書簡	大正2	1913	2	11	敬老人三	桜男殿	沼津御用邸 香川敬 三

封筒宛名	消 印	形態	備 考	書 き 出 し
		書簡		時分柄日々寒さにおはしまし候へとも愈大宮様にも御機嫌よく成らせまいらせ候
麴町区紀尾井町 香川敬三様	東京本所35年2月 18日	書簡	御親展	謹捧寸楮候余寒之候益御清穆被為渡奉至賀候偕過日
		書簡		其後ハ絶々御便りも申入まいらせず大御無沙たニ打過候梅雨中午日々
		書簡		時分柄追々寒さに相成り候得とも愈御揃被遊御機嫌よく成らせられ候
		書簡		其後打絶大無さた申入まいらせ候日々きびしき暑さにおはしまし候
東京麴町区紀尾井町 七番地 香川志保 様	常陸野口24年6月 23日／武蔵東京24 年6月23日	書簡	親展／鉛筆書で裏に 「敬三の実家」とある	拝啓陳ハ本月十八日付ヲ以一書ヲ呈し候得共其後 大人御容体如何被遊候哉
東京麴町区紀尾井町 七番地 香川敬 三様	撰津大坂24年6月 19日／武蔵東京24 年6月20日	書簡	御親展	謹啓仕候去ル十六日発刊時事新報ニ左之通り記載 有之転驚愕仕候
麴町区麴町一ノ二 伯爵香川敬三閣下	判読不能	書簡	御断書差出済三月二 十五日	謹啓愈々御多祥の段奉慶賀候偕て御多用の程相察 候へども本会規則第六
		一紙	30-1 に同封	皇道は我帝国固有の大道なり、而して斯道は国家 の精髓、国民の須臾も離る
東京麴町区永田 〔 〕二十番地 香川敬三様	甲府19年10月14日 ／東京19年10月15 日	書簡		拝呈当時来御疎濶ニ打過候処時下御満堂様御揃
東京麴町区壱番地 五十六番地 香川 桜男様	武蔵東京〇年1月 3日	書簡		恭賀新年謹祝寿福扱年内ハ意外之御厚意斗蒙り
麴町区一番町 香 川様御内藤澤佐吉 郎様	武蔵東京27年5月 14日	書簡	大至急／書簡中切取 されている箇所あり	爾来御疎濶奉万謝然者予て御承知之紛紜之件ニ付
名古屋市東区白壁 町十八 香川桜男 様	8年8月7日／名 古屋赤塚8年8月 〇日	書簡		延引乍御礼申上候さて日々厳しき暑さに御座候処 弥御揃遊ハサ御機嫌よく入せられ
東京麴町区一丁目 香川敬三殿御役人 中様	京都荒神口37年10 月10日／東京麴町 37年10月11日	書簡		一筆奉り候朝夕ハ寒さもよふよふ候所御揃被遊万 〇〇御機嫌よく成せられ候
東京市麴町区紀尾 井町七番地 香川 桜男様	陸前仙台28年8月 7日／武蔵東京28 年8月8日	書簡		拝啓仕候御尊書拝読仕候処其後御変も無之御暮居 之由大慶至極ニ存候
香川皇后大夫殿		書簡	奉請親展	謹啓御下示之趣敬承仕候就而ハ天々其順序ニ取斗 〔 〕候
		一紙	新年詠進之書付志保 子調	新年同詠巖上亀応制歌皇后宮大夫従三位勳二等子 爵臣源朝臣敬三上
		一紙	父上様御歌在中昭和 五年六月志保子調	従三位源敬三 ちりのこること葉のはなも光ある はるのめくみにあひにけるかな
		写真		(裏書) 香川桜男
		一紙		明治三十五年七月十日午饗 一重焼入鶏肉 一牛 鶏羹汁 一蒸冷鯛伊勢蝦注汁

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	作成者名	宛名	封筒差出
23		典侍津根子書簡	(不詳)				典侍津根子	香川正子殿	
24		手塚任書簡	明治35	1902	2	18	任	香川子爵様御側	本所区新小梅町壱番地 手塚任
25		西西子書簡	(不詳)				西子	須磨子殿	
26		西西子書簡	(不詳)				西さい子	香川須磨子殿	
27		西西子書簡	(不詳)				西さい子	香川須磨子殿	
28		蓮田竹彦書簡	明治24	1891	6	22	蓮田竹彦	香川志保様	茨城県東茨城郡伊勢畑 村蓮田竹彦
29		早味朝五郎書簡	明治24	1891	6	19	早味朝五郎	香川敬三様	在大坂中之島六丁目壱 番屋敷第五号寓早味朝 五郎
30	1	土方久元書簡	大正2	1913	3		伯爵土方久元	伯爵香川敬三閣下	皇道実行会名誉会長伯 爵土方久元
30	2	皇道実行会趣意書 並規則書	大正元	1912	10				
31		藤村紫朗書簡	(不詳)		10	15	紫朗	香川様	山梨県甲府常盤町 藤 村紫朗
32		F. フリツ書簡	(不詳)		1	2	エフ・フリツ	香川桜男様	横浜居留地百七十七番 館フリツ
33		牧逸馬書簡	明治27	1894	5	14	牧逸馬	藤澤佐吉郎様	日本橋区蛸殻町三丁目 十三番地 成井弥三郎 方々牧逸馬
34		松園満子書簡	大正8	1919	8	7	満子	桜男様	東京府下西〔 〕百六 十曾我方ニテ松園満子
35		曲直瀬德行院書簡	明治37	1904	10	10	曲直瀬德行院	香川御学君様	京都寺町荒神口上ル堀 又三郎方曲直瀬德行院
36		山口十八書簡	明治28	1898	8	1	十八	香川桜男様	仙台市木町末無二番地 山口十八拜
37		渡辺千秋書簡	(不詳)		2	5	千秋	香川大夫閣下	渡辺千秋
38		香川敬三和歌	(明治26)	1893			皇后宮大夫従三位 勲二等子爵臣源朝 臣敬三		
39		香川敬三和歌	(不詳)				従三位源敬三		
40		香川桜男写真	(不詳)						
41		結婚披露宴メニュー	明治35	1902	7	10			

封筒宛名	消 印	形態	備 考	書 き 出 し
東京市糀町区紀尾井町七番地 香川敬三様	常陸水戸37年8月3日	書簡	親展	拝啓酷暑ニ罷成り候処御揃ヒ愈御清穆被為涉奉敬賀候扱先般ハ上京色々
東京麹町区紀尾井町 香川敬三殿	常陸長倉37年10月8日／東京麹町37年10月9日	書簡	親展	拝啓皆々様愈々御清康之段奉大賀候扱而御令息様ニハ未内地ニ御在勤之御事
東京赤坂見付門内香川敬三様	常陸那珂長倉10月12日	書簡	親展	過般御差出し御書翰本月十日相届き奉拝見候処金三拾三円也為替証式枚
		一紙		領収証一金三円也右之通り正ニ受取申候也
麹町区紀尾井町子爵香川敬三閣下	東京麹町37年10月31日	書簡	御親展	謹啓其後久敷御無沙汰申上居り申訳無之候追々寒さに相向ひ候処益御清祥
		書簡		新年之御慶芽出度申納候先以其御地御双親様奉始御渾家御一統被為揃愈御安健
紀尾井町香川会長閣下		書簡	親展	拝啓仕候陳者昨夜御暇後直地ニ岩倉家へ罷出拝謁之上御申聞之通開陳
東京麹町区紀尾井町 香川桜男殿	沼津2年6月23日／麹町2年6月24日	書簡	親展	御手紙被下拝見致候一昨廿一日ニハ御無事御帰宅之由家族一同よろこひ候事
静岡県沼津御用邸ニ而 香川敬三様	麹町35年4月6日	書簡	親展	五日付御手紙二通一所ニ相届き難有拝見申候処あなた様ニハ三日夜尿道御痛み
静岡県沼津御用邸ニ而 香川敬三様	沼津45年1月2□日	書簡	親展	御書拝見申候所御風追々御よろしく入らせ給候由承り何より何より御悦申上候
東京麹町区紀尾井町香川桜男殿	沼津□年6月22日／麹町2年6月22日	書簡	親展	昨日者三年振ニ御対面申上御壮健にての御様子実ニ実ニ御嬉敷存上候
麹町区香川五十九番地香川桜男殿	武蔵東京青山26年5月5日	書簡	乞親展	晩春之候ニ御座候処承れば貴君は御病魔之為め御引籠り之由如何に御座候や
麹町区紀尾井町香川皇后大夫殿	武蔵東京牛込31年11月15日	書簡		拝啓秋菊芬芳の節愈御清康奉敬賀候陳者明日観菊の会可参向の処折悪しく
東京麹町区紀尾井町七番 香川桜男君	武蔵東京28年□月15日	書簡	破損が激しいため注意	芳墨拝見貴兄益々御勇壯大賀至極次に迂生無恙消光罷在候間御休心被下度
皇后宮大夫 子爵香川敬三殿		書簡		拝啓来ル十八日菊麿王妃故範子殿下御百日相当ニ付同日午前十時御霊殿祭
東京麹町区一番町香川敬三殿	宮崎27年6月20日／東京27年6月24日	書簡		謹啓愈御安康奉恭賀候然者既ニ御聞及モ有之候半当宮崎県西諸県郡高原村
香川殿御吏		書簡		拝啓残暑之候候得共聖上皇后両陛下益御機嫌能被為在御御座恐悦至極ニ
		書簡		新年御目出度う存じます皆々様には御揃ひ遊ばし御機嫌うるわしく御迎春の御事
香川子爵殿		書簡	拝復	昨日御邪魔仕候其節御話仕候楫取氏申立云々之事ニ候夫人之申分とハ
麹町区紀尾井町香川敬三様	東京麹町□年10月23日	書簡	親展	謹啓本日は拝顔之栄を得御多用なるにも不係御叮嚀なる御配慮に預り幸榮至極
香川正子殿		書簡	宮内庁印あり	皇太后大喪儀殯宮移御の儀及び殯宮移御後一日祭の儀が行われますから
同上		冊子		一、皇太后大喪儀に故皇太后の親族の参列又は参拝される諸儀は左記の
東京市麹町区紀尾井町香川子爵殿	神戸37年10月14日／東京麹町37年10月15日	書簡	親展	拝啓益御壮栄被遊奉賀上候陳ハ曾テ御覽相願候養父水戸表の碑石昨年十一月

【目録1】

No.	枝	史料名	年	西暦	月	日	作成者名	宛名	封筒差出
1		朝倉政通書簡	明治37	1904	8	3	政通	香川先生	水戸市上市五軒町五番地 朝倉政通
2		石川貞二書簡	明治37	1904	10	7	貞二	香川様御吏	茨城県那珂郡長倉村 石川貞二
3		石川利平書簡	(不詳)		10	14	石川利平	香川敬三様	茨城県下那珂郡長倉村 石川利平
4		一柳寅吉領収書	明治33	1900	7	11	当神明氏子世話方 一柳寅吉(印)	香川様	
5		井原豊作書簡	明治37	1904	10	31	豊作	香川子爵閣下御執事	井原豊作／東京市京橋区尾張町壺丁目老番地 東京日日新聞日報社
6		岩村団次郎書簡	明治35	1902	1	1	団次郎	御双親様膝下	
7		岡野碩書簡	(不詳)		5	4	碩	会長閣下	岡野碩
8		香川敬三書簡	大正2	1913	6	23		桜男殿	沼津御用邸 香川敬三
9		香川須磨子書簡	明治35	1902	4	6			東京麹町紀尾井町 香川須磨子
10		香川須磨子書簡	明治45	1912	1	25	すまこ	御主人様	東京麹町紀尾井町 香川須磨子
11		香川志保子書簡	大正2	1913	6	22	志保子	桜男様	静岡県沼津牛臥 香川志保子
12		河田頼功書簡	明治26	1893	5	4	河田頼功	香川桜男殿	赤坂表三十五 河田頼功
13		栗田寛書簡	明治31	1898	11	15	寛(印)	香川君御吏	文科大学教授栗田寛 牛込区矢来丁三番
14		香渡常盤書簡	明治28	1895	3	14	香渡常盤	香川桜男君	横須賀軍港東京商船学校寄宿舎香渡常盤
15		近藤久敬書簡	(不詳)		2	12	山階宮家令 近藤久敬	皇后宮大夫子爵香川敬三殿	山階宮家令近藤久敬
16		県社狭野神社保存会事務分所書簡	明治27	1894	6	20	委員長社司 長田鉄見(印)／会長正六位 野村綱(印)	香川敬三殿	宮崎県宮崎郡宮崎町大字江平町 県社狭野神社保存会事務分所
17		佐々木高行書簡	(不詳)		8	12	佐々木高行	香川殿	佐々木高行
18		三宮つい書簡	(不詳)		1	7	三宮つい	香川御奥様	
19		杉孫七郎書簡	(不詳)		7	7	孫七郎	香川賢台	杉孫七郎
20		添田寿雄書簡	(不詳)		10	22	寿雄	香川敬三様／同御令夫人様	渋谷赤十字社中 添田寿雄
21	1	田島道治書簡	昭和26	1951	5	30	宮内庁長官田島道治	香川正子殿	宮内庁長官 田島道治
21	2	親族注意書	(不詳)						同上
22		田丸税稔書簡	明治37	1904	10	14	田丸税稔	香川子爵閣下	神戸市楠町五丁目一九一 田丸税稔

